

日 本 史

(問 題)

2017年度

〈H29113319〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

古代における対外関係という、何を思い浮かべるだろうか。まず遣唐使が想起されるという人も多いだろう。

隋と正式な交流をもっていた倭国は、唐が隋にかわって中国を統一した後、遣唐使を派遣するようになった。^a遣唐使として唐に派遣された人物には奈良時代の政治史の中心人物も多く、また遣唐使にともなって中国に派遣された僧や、鑑真のように日本に招聘された僧は、^b日本の仏教界に大きな革新をもたらした。

しかし、遣唐使が派遣された回数は、数え方によるものの20回程度でしかない。最も安定的に派遣されていた8世紀^dですら7回しか派遣されておらず、9世紀には、桓武天皇の時代の延暦の遣唐使と、^c仁明天皇の時代の承和の遣唐使が派遣されただけであった。894年に任命された遣唐使は、菅原道真の建議によって派遣されず、その後、再開されることなく唐が滅びたため、結果的に承和の遣唐使が最後の遣唐使となった。このように考えると、遣唐使によって行われた交流には限界があった。むしろ外交使節の行き来は、新羅や渤海との間の方が頻繁であった。

しかも遣唐使の派遣や帰国にあたっては、朝鮮半島の諸国や民間の商人たちが協力していたことが知られている。遣唐使が渤海を経由して入唐・帰国することもあったほか、^e円仁は、承和の遣唐使が山東半島など中国沿岸各地で活動していた新羅の商人に助けられていたということを記録に残している。つまり、様々な国同士の外交使節の往来や、境界を超えた商人たちの活動があつてこそ、遣唐使を派遣することもできたのである。そのため、遣唐使の中絶後も大陸の文物の移入はますます活発になり、そこでもたらされた「唐物」が^f国風文化の基盤となっていく。

このように、遣唐使の活動は大陸との間の様々なチャンネルによる交流の一環として捉えるべきなのである。

問1 下線部aに関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 煬帝は、小野妹子のもたらした国書の内容を無礼とした。
- イ 隋から倭国に答礼使として裴世清が派遣された。
- ウ 遣隋使とともに渡海した旻や南淵請安は、大化改新後に国博士となった。
- エ 最初の遣唐使である犬上御田鍬は、遣隋使としても渡海した経験があった。
- オ 『隋書』倭国伝や『日本書紀』に遣隋使についての記事がみえる。

問2 下線部bにあてはまらない人物は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 藤原宇合 イ 山上憶良 ウ 阿倍仲麻呂 エ 吉備真備 オ 藤原清河

問3 下線部cに関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 玄昉は、太政大臣禪師として政治を行った。
- イ 空海は、唐風の書道で知られ、三蹟の一人とされた。
- ウ 空海が賜った東寺は、教王護国寺と称されて密教の道場となった。
- エ 最澄は、比叡山延暦寺を拠点に真言宗を開いた。
- オ 最澄の弟子の円珍は、三井寺を拠点に活動し、後に山門派と呼ばれた。

問4 下線部dの出来事ではないものはどれか、2つ選べ。

- ア 大宝律令の制定 イ 『凌雲集』の成立 ウ 胆沢城の築城
- エ 出羽国の設置 オ 大隅国の設置 カ 『古事記』の完成

問5 下線部 e に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 嵯峨天皇を父に持つ。
- イ 恒貞親王が廃太子となったことから立太子した。
- ウ 淳和天皇のあとをうけて即位した。
- エ 文徳天皇を息子に持つ。
- オ 光孝天皇を息子に持つ。

問6 下線部 f に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 高句麗を滅ぼし、その故地に建国した。
- イ 新羅と同盟して唐と戦った。
- ウ 『三経義疏』を日本に伝えた。
- エ 日本へは主に硫黄を輸出した。
- オ 契丹によって滅ぼされた。

問7 下線部 g の著作として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 『風信帖』 イ 『小右記』 ウ 『入唐求法巡礼行記』 エ 『本朝文粹』 オ 『行歴記』

問8 下線部 h に関連して、Ⅰ～Ⅲを時期の古い順に並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 『往生要集』が著された。
 - Ⅱ 『古今和歌集』が編集された。
 - Ⅲ 平等院鳳凰堂が落成した。
- ア Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ イ Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ ウ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ
エ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ オ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ カ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

Ⅱ 次の史料は、ある戦国大名が制定した法令の一部である。これを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

- 史料 一、譜代の外、自然めしつかふ者、逐電の後 1 余年を経なば、本主人、これをただすに及ばず。但し、失あつて逐電の者にをいてハ、此の定にあらざるべし。
- 一、喧嘩に及ぶ輩、理非を論ぜず、^a両方共に死罪に行わるべし。はたまた相手取りかくるというとも、堪忍せしめ、あまつさえ疵せらるるにおいては、事は非儀たりというとも、当座おんびんのはたらき、理運たるべきなり。
- 一、諸宗の論の事、2 中においては、これを停止しおわんぬ。
- 一、3 両国の輩、或いはわたくしとして他国よりよめを取り、或いはむこに取り、むすめをつかわす事、自今以後、これを停止しおわんぬ。
- 一、各困窮せしむるにより、^b徳政の沙汰にあらずといえども、或いは年期をのべ、或いは連々を以て弁済の事、誠に非分の至りなり。

問1 この法令に関する説明として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 制定者は小田原城を居城とした。
イ いったん制定された後、制定者の子によって条文が追加された。
ウ 制定者は釜無川の治水事業に取り組んだ。
エ 戦国大名が定めた法令では、最多の条文数を持っている。
オ 守護の地位を奪った守護代によって制定された。

問2 空欄1には、次の鎌倉幕府法の条文の空欄4と同じ数字が入る。該当する数字はどれか、1つ選べ。

- 一、御下文を帶すと雖も知行せしめず、年序を経る所領の事、
右、当知行の後、4 ケ年を過ぐれば、大將家の例に任せて、理非を論ぜず、改替能わす。

- ア 五 イ 十 ウ 十五 エ 二十 オ 二十五

問3 下線部aに関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 喧嘩をした者に対しては、両方の理非をよく見極めて処罰する。
イ 喧嘩をした者に対しては、両方の理非に関係なく死罪とする。
ウ 相手から手出しされた喧嘩で堪忍せず傷つけられた場合は罪としない。
エ 相手から手出しされた喧嘩なら堪忍する必要はない。
オ 喧嘩の際に穏便な働きをただけの者は処罰しない。

問4 空欄2には、戦国大名の支配領域を意味する語句が入る。該当する語句はどれか、1つ選べ。

- ア 本家 イ 知行国 ウ 自国 エ 分国 オ 公儀

問5 空欄3には、この法令を定めた戦国大名が支配していた地域を意味する語句が入る。この語句が示す地域はどこか、1つ選べ。

- ア 駿河と遠江 イ 相模と駿河 ウ 駿河と伊豆 エ 相模と伊豆 オ 甲斐と信濃

問6 下線部bに関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 本来は為政者が行う仁徳のある政治を意味した。
- イ 正長の土一揆では、蜂起した土民たちがこれを要求した。
- ウ 室町幕府は分一銭の納入を条件にした徳政令をしばしば発布した。
- エ 将軍の代替わりがあった1441年、これを要求した土一揆が京都を占拠した。
- オ 将軍義教は一揆勢の要求を受けて大和国を対象とした私徳政を行った。

問7 この法令を定めた戦国大名の出自・動向に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 守護の出身で、領内で金山を経営して豊かな経済力を誇った。
- イ 国人の出身で、守護を自害させた守護代を討って10ヶ国を平定した。
- ウ 守護の出身で、その支配領域は3ヶ国に及んだ。
- エ 室町幕府の管領を務めた人物の家臣の出身で、主家と将軍を追放した。
- オ 国人の出身で、隣国の守護代出身の大名と同盟した。

問8 この法令が定められた前後の出来事Ⅰ～Ⅲを時期の古い順に並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 武田晴信が父を追放した。
- Ⅱ 堀越公方が滅ぼされた。
- Ⅲ 長尾景虎が関東管領の職を受け継いだ。

- ア Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ イ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ ウ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ
- エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ カ Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ

Ⅲ 近世の都市と農村に関する次の史料A・Bを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

史料A 惣じて北浜の 1 は日本第一の津なればこそ、一刻の間に、五万貫目のたてり（立売^{あきない}商^{あふる}も有事なり。（中略）世上に金銀^{うははん}の取やりには預り手形^{たしか}に請判^{なにい}、慥に「何時なりとも御用次第」と（中略）難波橋より西、見渡しの百景^a、数千軒の問丸^{いんか}、菟をならべ、白土、雪の曙^{あけぼの}をうばふ。（中略）商人^{あきんど}あまた有が、中の嶋に、岡・肥前屋・木屋・深江屋・肥後屋・塩屋・大塚屋・桑名屋・鴻池屋^b・紙屋・備前屋・宇和嶋屋・塚口屋・淀屋など、此所^{ぶしん}久しき分限にして商売やめて多く人を過しぬ。

井原西鶴『日本永代蔵』^c

史料B 出羽、陸奥の両国は、常は豊饒^{ほうじょう}の国なりしが、此年^dはそれに引きかへてとりわけの不熟にて、南部^e、津軽に至りては、余所より甚しく、（中略）父子兄弟を見棄て、我一^fにと他領に出さまよひ、なげき食を乞ふ。されど行く先々も同じ飢饉の折からなれば（中略）日々に千人二千人^{るへん}流民共は餓死せし由、（後略）

杉田玄白『後見草』^g

問1 空欄1に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 魚市 イ 布市 ウ 米市 エ 背物市 オ 牛市

問2 下線部aに関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 金貨は、後藤家により鑄造された小判やさらに少額の金貨が流通した。
- イ 銀貨は、貫・匁・分などの単位で表示される計数貨幣であった。
- ウ 寛永通宝の発行により、欠け銭などの悪貨がしだいに整理された。
- エ 三貨の交換比率は、時期によって変動するものであった。
- オ 大坂を中心とする取引はおもに銀貨を使う銀建て、江戸は金建てであった。

問3 下線部bの豪商に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 伊丹の酒造で財を成し、海運業・両替商のほか、新田開発にもとりくんだ。
- イ 材木商として知られ、幕府御用の日光東照宮修理などで富を得た。
- ウ 先祖からの蔵元として富を得たが、ぜいたくを理由に全財産を没収された。
- エ 紀州みかんの江戸回送、後には材木商として財を成した。
- オ 銅精錬に南蛮吹き^hの技術を導入して成功し、後に糸割符仲間にもなった。

問4 下線部cの作品が該当するジャンルとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 好色物 イ 時代物 ウ 武家物 エ 世話物 オ 町人物

問5 下線部dの年号に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 享保 イ 延宝 ウ 寛永 エ 天明 オ 天保

問6 下線部eに関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 南部・津軽は馬の産地として知られていた。
- イ 漆器は南部の名産品だった。
- ウ 南部藩は出羽国に含まれ、西廻り航路の港があった。
- エ 『自然真営道』を著した安藤昌益は江戸の町医者であった。
- オ 津軽藩は外様大名で城下町は弘前にあった。

問7 史料Aに関連して、近世都市における出来事Ⅰ～Ⅲを時期の古い順に並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 江戸石川島に人足寄場を設置した。
- Ⅱ 大坂に二十四組問屋が成立した。
- Ⅲ 明暦の大火で江戸市街が類焼した。

- ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
- エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問8 史料Bに関連して、18世紀から19世紀半ばの近世の農村に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 農村部からの出稼ぎ等で離村した人々は、都市の裏町や場末の貧しい棟割長屋に暮らすことが多かった。
- イ 大坂周辺や尾張の農村部では、特産の綿を活かした工場制手工業もみられるようになった。
- ウ 都市で歌舞伎の人気が高まると、村の若者が歌舞伎をまねた村芝居を祭礼などに合わせて上演した。
- エ 出版業の発達とともに『大学或問』などの農業技術書が書かれ、単位面積あたりの収穫量が増大した。
- オ 関東では、人口が大きく減少するなど農村の荒廃がめだった。

Ⅳ 次の文章を読み、問1～10に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

江戸幕府は開国後、西洋諸国の学問的知識や科学技術を取り入れることによって、国家的な自立を確保しようとした。1855年には、参勤交代御用を洋学所とし、さらにその翌年には 1 と改称して、西洋諸国の言語や学問の教育・研究にあたらせた。また、幕府や一部の藩では、留学生を西洋諸国に派遣した。

明治政府は、近代化を推進するために、多くの外国人教師を招いた。明治初期に、外国人教師の多くを占めていたのはイギリス人であったが、その後は、ドイツ人の比率が高まっていった。また、外国人のもとで学んだ日本人の建築家による洋風建築や、日本人の学者による独創的な研究が、次第に現われるようになった。

大正時代には、人文・社会科学において、自由主義的な立場からの研究が広がりを見せるとともに、マルクス主義の影響が強まっていった。しかし1930年代に入ると、政府による取り締まりや国家主義の興隆を背景として、自由主義やマルクス主義は衰退していった。これらの思想が知識人の間で再び影響力を増していくのは、第2次世界大戦後のことであった。戦後、学問の再興が進められるなか、自然科学の分野では、1949年に日本人初のノーベル賞受賞者が出た。

問1 空欄1に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 開成学校 イ 開成所 ウ 講武所 エ 参勤調所 オ 洋書調所

問2 下線部aに関連して、薩摩藩がイギリスに派遣した人物を1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 井上勝 イ 大久保利通 ウ 黒田清隆 エ 西村茂樹 オ 森有礼

問3 下線部bに関連して、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア イギリスの地震学者フォンタネージは、工部大学校で教鞭をとった。
イ イギリスの画家ミルンは、工部美術学校で教鞭をとった。
ウ ドイツの法学者モッセは、地方自治制の確立に尽力した。
エ ドイツの法学者ボアソナードは、明治憲法の制定に尽力した。
オ ドイツの法学者ロエスレルは、刑法や民法を起草した。

問4 下線部cに関連して、工部省で技師として勤務したイギリス人を1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア グリフィス イ ケーベル ウ コンドル エ フルベッキ オ ラグーザ

問5 下線部dに関連して、辰野金吾が設計した建造物を2つ選べ。

- ア 旧岩崎邸 イ 旧東宮御所 ウ 東京駅
エ ニコライ堂 オ 日本銀行本店 カ 鹿鳴館

問6 下線部eに関連して、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 大森房吉は、原子模型理論を発表した。
イ 木村栄は、地球の緯度変化公式のZ項を発見した。
ウ 志賀潔は、ペスト菌を発見した。
エ 鈴木梅太郎は、アドレナリンを抽出した。
オ 長岡半太郎は、地震計を考案した。

問7 下線部 f に関連して、当時の学問や科学技術をめぐる動向に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 津田左右吉は、『古事記』や『日本書紀』の文献学的批判を行なった。
- イ 本多光太郎は、K S 磁石鋼を発明した。
- ウ 八木英次は、現在のテレビ用アンテナの原型を発明した。
- エ 理化学研究所が、第一次世界大戦の最中に設立された。
- オ 和辻哲郎は、『善の研究』を著して独自の哲学体系を打ち立てた。

問8 下線部 g に関連して、『日本資本主義発達史講座』を企画・編集し、日本資本主義論争において大きな役割を果たした人物を1人選べ。

- ア 猪俣津南雄 イ 佐々木惣一 ウ 野呂栄太郎 エ 長谷川如是閑 オ 福田徳三

問9 下線部 h に関連して、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 大川周明の著作『日本改造法案大綱』は、右翼運動家の教典となった。
- イ 鈴木茂三郎が書記長を務めた日本無産党は、結社禁止となった。
- ウ 東京帝国大学教授の滝川幸辰が、国家破壊的な内容を含んだ著作を刊行したとして休職処分になった。
- エ 永田鉄山は、「高度国防国家」の建設を志向した陸軍の皇道派の中心人物であった。
- オ 陸軍青年将校を中心とする一団が、首相官邸を襲撃し、犬養毅を射殺した。

問10 下線部 i に関連して、以下に挙げたノーベル賞受賞者を受賞時期の早い順で並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- I 川端康成
- II 佐藤栄作
- III 朝永振一郎

- ア I → II → III イ I → III → II ウ II → I → III
- エ II → III → I オ III → I → II カ III → II → I

V 次の文章および史料A～Dを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

古代から近代にいたる、日本の宗教について考えてみたい。

人々の信仰の基本は、地域の共同体による神祭祀にあったと考えられているが、大陸から仏教が伝来すると、寺院の建立は豪族の権威を示すものとなり、やがて国家的にその興隆が推進されるようになった。一方、在来の神々や祖先信仰も継続し、しだいに神仏習合の考えも広がるようになった。以下の史料Aは、摂津国司から中央にあてた「西から新たな神が入京しつつある」という報告の一部である。この神はさらに東上し、託宣と称して石清水八幡宮に到着したという。

史料A 志多良神（注1）と号くる興三前、今月二十五日辰の刻をもって、（摂津国）河辺郡方より、数百許りの人、三興を荷ひ担ぎ、幣を捧げて鼓を撃ち、歌舞羅列し、当郡（注2）に来着す。道俗男女、貴賤老少、彼の日の朝より、明暁に至るまで、会集市を成し、歌舞山を動かす。（中略）其の捧ぐる所の物は、或いは菓及び種々の雑物、勝て計ふべからず。（中略）

天慶八年七月二十八日

（注1）九州から来た八幡神系の神。疫病流行除けまたは農村開発に関わるとされる。

（注2）摂津国豊嶋郡のこと。

中世の信仰の特徴は、庶民を含む広い層を対象とする新たな変化にあるといわれる。鎌倉新仏教は、旧仏教の腐敗を批判し、一般武士や庶民にわかりやすい教えや実践を説いたことから、京都や鎌倉のような都市ばかりでなく、広く地方にも受け入れられていった。他方、幕府が京都におかれるようになると、武家文化と公家文化の融合が進むなか、史料Bのように、祭祀・法会をめぐる政治の一体化もすすむようになった。

史料B 彗星出現の事、司天（注3）室町殿に注進す。仍って公家・武家御祈りの事、早く其の沙汰あるべきの由中山宰相中将（注4）に仰せらる。（中略）明後日、天地災変の御祭、有重卿勤行すべきの由仰せらる。御修法兩壇、来月行わるべしと云々。

（注3）天文博士のこと。当時は安倍有重。（注4）中山定親。当時は武家伝奏であった。

その後、開国と幕末の動乱を経て近代国家が成立する過程で、日本における宗教のありかたは大きく変化した。1868年、明治政府は、神道を中心に据えた国民教化をはかるべく、史料Cの 1 令を布達した。

史料C 今般、諸国大小ノ神社ニオイテ神仏混淆ノ儀ハ御廃止ニ相成リ候ニ付、別当社僧ノ輩ハ還俗ノ上、神社社人等ノ称号ニ相転シ、神道ヲ以テ勤仕致スヘク候。若シ亦、擬無ク差支之有リ、且ハ仏教信仰ニテ還俗ノ儀、不得心ノ輩ハ神勤相止メ、立退キ申スヘク候事。

しかし、神道を中心に据えた国民教化は、国民の間には十分に浸透せず、しだいに退潮に向かった。その後、仏教は勢力を徐々に回復していき、国粋主義の立場から仏教を体系化しようと試みる思想家も現われるようになった。キリスト教について明治政府は、 1 令の布達と同じ1868年「五榜の掲示」を掲げ、邪教として禁じた。さらに、長崎浦上のキリシタンを弾圧したが、これに対して列国からは、史料Dに見られるような激しい抗議を受けた。

史料D 今までの日本側大臣閣下のご発言を注意深くお聞きしましたが、私どもは浦上のキリスト教徒排斥の動きは全く宗教上の偏見に根ざしたものであるという印象を抱きました。浦上村民は、不幸にも日本と条約を締結しているその列強の宗教を信奉するという理由から、処罰を受けている訳で、これはこれら条約締結国を侮辱するものです。（中略）これ以上列強を侮辱し続ければ、我々と貴国の間に容易ならぬ紛争が予想されます。私ども日本駐在公使の義務として、このような政策は悪結果を招来することを貴国政府に告知します。

その後、禁教が条約改正交渉に悪影響を与えていることを認識した明治政府は、1873年にキリスト教禁教の高札を廃止した。さらに、外国人教師らの影響もあって、キリスト教の信仰は、青年知識人層を中心に次第に広がりを見せるようになった。1889年に発布された大日本帝国憲法では、条件つきながら、信教の自由が明文化された。

問1 下線部 a に関して、秦氏の建立とされる寺院はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 飛鳥寺 イ 四天王寺 ウ 広隆寺 エ 興福寺 オ 中宮寺

問2 下線部 b の年号の間に起こったできごととして、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 平国香が、所領をめぐる争いで甥に殺された。
イ 平将門が、常陸・下野・上野の国府を攻略した。
ウ 平忠常が乱を起こし、房総を占拠した。
エ 源頼信が関東の乱を平定し、東国の平氏は衰えた。
オ 藤原純友が乱を起こし、大宰府を焼き討ちした。
カ 藤原秀郷が、海賊平定のため瀬戸内海に派遣された。

問3 下線部 c に抗弁した「興福寺奏状」を契機に、親鸞が配流された地として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 土佐 イ 越後 ウ 讃岐 エ 伊豆 オ 佐渡

問4 史料 A・B に記された内容や、古代から中世の宗教に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 在来の山岳信仰と、山中に伽藍を営む仏教が結びついて、修験道がさかんとした。
イ 志多良神の地方からの入京は、中世に先立つ民衆信仰の基盤の拡大を示すものであった。
ウ 神は仏が仮の姿であらわれたものとする、本地垂迹説が生まれた。
エ 彗星の出現は吉事の前兆と考えられ、仏教・陰陽道による祭祀の対象となった。
オ 足利義満以降、国家的な祭祀・法会も幕府主導で行われるようになった。

問5 下線部 d に関連して、この時期に起こったできごとに関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア アメリカ人宣教師のヘボンが、日本初の和英辞書を出版した。
イ 伊勢神宮への御蔭参りが流行した。
ウ 黒住宗忠が神人合一の境地を悟り、宗教活動を始めた。
エ 「ええじゃないか」とよばれる民衆の集団乱舞が、東海・近畿地方を中心に広まった。
オ 後に教派神道とよばれる民衆宗教が普及した。

問6 空欄 1 に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 国家神道 イ 祭政一致 ウ 神社合祀 エ 大教宣布 オ 廃仏毀釈

問7 史料 D の発言を述べたイギリスの公使はだれか、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア オールコック イ グラバー ウ グラント エ パークス オ ロッシュ

問8 下線部 e に関連して、明治期におけるキリスト教信仰に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア アメリカ人のジェーンズは、熊本洋学校で聖書を講じた。
イ 井上哲次郎は、内村鑑三不敬事件を受けてキリスト教を厳しく批判した。
ウ 救世軍や矯風会などのキリスト教団体は、廃娼運動に尽力した。
エ 熊本バンドに参加した植村正久は、後に吉野作造や鈴木文治を育成した。
オ 新渡戸稲造は、札幌農学校でキリスト教に入信した。

{ 以 下 余 白 }